

財政調整基金は市民のために

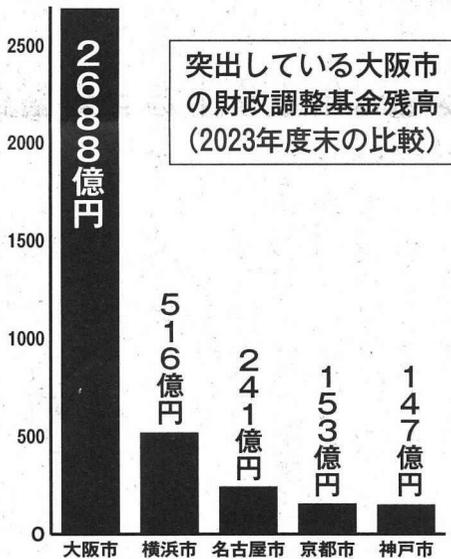
大阪市議会財政総務委 山中智子議員が質問

(2025年3月23日付大阪民主新報)

10日の大阪市議会財政総務委員会で、日本共産党の山中智子議員は、大阪府がため込んだ財政調整基金の問題を取り上げ、物価高騰や全国一高い介護保険料などで困っている市民のために使うべきだと主張しました。

大阪市の貯金に当たる財政調整基金の残高は、2025年度末見込みで2734億円。23年度末は2688億円と、他の政令市と比べて突出しています(グラフ)。

山中氏は、「こんなにためる力があるのなら、



今その一部を活用して、悲鳴を上げている方たちの声に応えるのが自治体の役割ではないか」とただしました。

横山英幸市長は、今後の市の財政状況は予断を許さず、財政調整基金は急激な環境変化への備えだと答弁しました。山中氏が「万博の赤字(の穴埋め)や夢洲(開発)に使わないか」と迫ったのに対し、「万博の赤字の穴埋めのために積み上げているのではない」と述べ

べました。

山中氏は「それなら万博が赤字になった時に、(財政調整基金からは)出せないと言えるか」と畳み掛けましたが、横山氏は「万博はまだ開催していない。開催自治体として全力を挙げる」と明言を避けました。

山中氏は「市民の思いや実態と、かけ離れている。市民はそれ(万博)どころではない。財政調整基金を使って助けるべきだ」と主張しました。



質問する山中議員 110日、大阪市議会財政総務委